

# 渡辺大三

週刊 NEWS



【会派 NEWS】 2019(令和元)年 9月5日号(改) 週刊 Vol.28  
 ご意見ご要望はお気軽に 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301  
 TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

## 市長、市民の意見聞かずに方針

## 庁舎＋福祉会館建設 耐震レベルと広場面積

構造の比較について

	A案	B案	C案
	基本設計者の技術提案書 庁舎:地下免震 福祉会館:耐震	庁舎:地下免震 福祉会館:地下耐震	庁舎:地下免震 福祉会館:地下免震
概略図			
構造	 庁舎:免震 福祉会館:耐震	 庁舎:免震 福祉会館:耐震	 庁舎:免震 福祉会館:免震
概算コスト ※	75億円	82億円	83億円
工期	福祉会館 : 14か月 庁舎 : 27か月	福祉会館 : 19か月 庁舎 : 27か月	福祉会館 : 21か月 庁舎 : 27か月
広場面積	1,270㎡	2,840㎡	2,840㎡
駐車場台数	126台(地上83台、地下43台)	126台(地上17台、地下109台)	126台(地上17台、地下109台)
備考	-	・福祉会館地下駐車場で+7億円増 ・福祉会館東側の既存樹木を残せない。	・福祉会館地下駐車場で+7億円増 ・総免震化により+1億円増 ・福祉会館周辺の既存樹木を残せない。

※概算コストは、技術提案時の建設費とする。

9月4日の本会議で、西岡市長は、市庁舎と福祉会館の複合建設の基本設計に関する「市長報告」を行いました。その際に配られた図面が表面掲載の図面です。

西岡市長の報告の内容は、端的に言い換えれば、「市庁舎は揺れない免震構造にするが、福祉会館は免震構造を採用せずに済ませたい」「地下に駐車場の大半を入れれば、地上に広場が2840㎡確保できるが、そうはせず、広場は半分以下の1270㎡程度で済ませたい」というものです。表面の図面で言いますと、市長はA案を採用したいということです。

実は、この複数案を比較できる図面は、私が作成を求めたものでした。小金井市政の悪い体質は、結論を先に決めて市民に押し付ける点にあります。私はいつも、「複数案をきちんと市民や議会に示して、十分に検討する必要がある」と主張してきました。今回も、そういう観点で作成を求めたのです。

おかしいな、と思うのは、西岡市長は、複数案を示すと同時に、議会の意見も市民の意見も聞かず、市長としての「方針」を打ち出したことです。本来なら、この複数案の図面をもとに、議会での議論、市民的議論が行われるべきです。

市長の方針で疑問に思うのは、以下の5点です。

- ① 市長や議員、職員がいる市庁舎は揺れが少ない免震システムを採用するのに、高齢者、身体障がい者、乳幼児が利用する福祉会館には採用しないという点について市民の理解が得られるか。庁舎はもとより、福祉会館も大震災の際には災害対策拠点となるべき建物であり、庁舎と同等の耐震強度が必要ではないか？
- ② B案だと7億円、C案だと8億円のコスト増になると言うが、新庁舎が完成すれば不要になる現在の市役所本庁舎用地を売却すれば10～11億円の売却益が得られるので、それを充当すれば、市民負担増や借金増を一切しないでも対応できるのではないか。不要資産の売却を検討しないのは不自然である。
- ③ 大震災が起きた場合、災害対策に大きな面積の空地が必要になるが、庁舎は通常業務も行うので、駐車場を転用するにも限度がある。駐車場は地下に入れて、地上の空間を、「平時は広場、大震災時は復旧拠点」にした方が望ましいのではないか？
- ④ A案の広場はわずか1270㎡。それに対してB案やC案では2840㎡が確保できる。その差は1570㎡にもなる。1570㎡の財産価値は、以下の数式で求められる。  
 $1570 \text{㎡} \times 29 \text{万} 5000 \text{円} / \text{㎡} \div 8 = 5 \text{億} 7893$

万円。

新規に広場や公園用地を確保しようとするれば、それだけの投資が必要になるのであるから、駐車場を地下に入れて地上を広場にしたい方がいいのではないか？。全市の子育て拠点も福祉会館に入るのであるから、子育て・子育て環境の充実の観点でも、十分な規模の広場を確保すべきではないか？。

- ⑤ 西岡市長は就任後、選挙公約に違反して、大幅に職員人件費を増やしてしまった。その何年かで7～8億円程度は捻出できるはずだったのではないか？。職員には高額給与のバラマキ、子どもたちや高齢者など幅広い市民が使う広場の設置にはお金を出さないというのでは、無計画財政だし、ひどい市政ではないか？。

庁舎建設予定地(蛇の目ミシン工場跡地)は、バブル経済の影響で地価が極めて高い時期に約100億円(利息含む)で購入した、市民の貴重な財産です。周辺はいわゆる「公園空白エリア」であり、地上の大半を駐車場で覆ってしまうA案がいいのか、一定の投資はしても、地下に駐車場を設置し、地上には大きな広場空間を整備するB案やC案がいいのか、よく議論した方がいいと思います。

議論もしないで結論を出す西岡市政は、「対話」「市民参加」は看板だけ、独善的だと言わざるをえません。

## 脱ムダで市政を変える！

### 渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補し、当選)。「脱ムダ改革」を掲げ、高額人件費問題など小金井市政のムダ遣いや不正、癒着、天下りを厳しくチェック。

現在=小金井の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」(代表=上田令子都議会議員)幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。

## 日々の市議会報告、活動報告、雑感

Twitter、facebookに掲載しております。「渡辺大三HP」からアクセスできます。ぜひお読みください。

<http://www.daizou.org/>